

九品仏地区 社協だより



発行者：九品仏地区社会福祉協議会
事務局：社会福祉協議会 九品仏地区事務局
世田谷区奥沢 7-35-4
九品仏まちづくりセンター内
☎070-3946-9797
<https://www.setagayashakyo.or.jp>

子育てサロン「つぼみ」(3/13)

九品仏地区会館 2 階大広間で、田辺薬局の管理栄養士、薬剤師による「離乳食教室・相談会」を開催し 5 組の親子が参加しました。

食物アレルギーを心配するご家庭は多いと思いますが、乳幼児のアレルギーに多い鶏卵・牛乳・小麦の 3 つと、大豆に関しては 3 歳までに約 5 割、6 歳までに約 7 割が自然に食べられるようになるそうです。

ご家庭では初めて食べる食材は 1 日 1 種類までとし、茶さじ 1 杯程度から始め、アレルギー対応の出来る病院の開いている日の午前中に試すと安心です。

又、災害時にポリ袋で作る離乳食レシピも教えて頂き、後半は個々の相談の時間を設けました。

専門家のお話を伺い、子どもたちの健やかな成長を願う貴重な時間となりました。

主任児童委員 高野橋 真弓

子育てサロンつぼみ



ボランティア交流会

「ボランティア交流会」(3/28)

あんしんすこやかセンター(略称あんすこ)のボランティアとはどのような方で、どのような活動をしているのかご存知ですか。

九品仏あんすこのボランティアは、講習(65 歳以上対象)を受講し、ボランティア登録した方が 14 名(現在実働は 10 名)、この他に 65 歳以下のボランティア数名がいます。この日集まったのは女性 4 名男性 1 名でした。

あんすこ主催の「いきいき講座」「つどいばぶら〜り」「はつらつ介護予防講座」、3 者(まちづくりセンター・地区社会福祉協議会・あんすこ)連携事業「体操とボッチャ」の手伝いが主な活動です。内容は講座ごとに異なりますが、必ずあるのは受付です。

受付で混乱しないように工夫することや体操のサポートでは転倒しないように見守っていること、認知症状のある方との交流に苦心していることなど、経験談を交換。

「少しでも手伝いができて良かった」の感想と共に、「講座がもっと周知できると良いのに」、との声もあがっていました。

他に、あんすこの事業には「見守り訪問」があります。介護保険は未利用だけれど安否確認が必要と思われる方のためボランティアが訪問をするという取り組みです。

見守りボランティアをしている方が話していたことが印象的でした。

「私自身見守りなんて大きなお世話だと思っていたけれど、年齢を重ねると変化があり、素直に他人の手を借りることも大切かと思うようになりました。」「他人だから言えることもあるんですね。」

「こんなことがあったらいいな…はないですか?」というあんすこからの問いかけに対して、「世代を超えた交流の会があるといいのでは…」との意見がありました。「外国の方を巻き込んで何か…」の声も。ちょっと面白そう…と思って聞いていました。
(M・S)

食で応援プロジェクト(フードライブ)のご案内

ご自宅で不要になった食品等ございましたらお持ちください。生活にお困りの方の支援に活用させていただきます。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

日時：5月25日(土) 場所：九品仏複合施設 入口

♪ 4月からよろしくお願いします ♪

○九品仏まちづくりセンター

所長 向後 雅一(こうご まさかず)

渡邊 百香(わたなべ ももか)

○社会福祉協議会 九品仏地区事務局

板坂 麻優(いたさか まゆ)

鈴木 希(すずき のぞみ)

